

2 三軒茶屋駅周辺地区基本構想

2.1 概況

(1) 地区特性

世田谷区は、23区の西方に位置し、都心に極めて近く交通が便利でありながら、自然的環境が豊富で緑が多い住宅都市です。区の東は渋谷区、目黒区、大田区、北は杉並区、西は調布市、狛江市、南は多摩川をはさんで神奈川県川崎市に接しています。区の面積は58.08平方キロメートルで、東京都の2.7%にあたります。

東急田園都市線三軒茶屋駅・世田谷線三軒茶屋駅を中心とする三軒茶屋駅周辺地区は、世田谷区の東部に位置し、駅を中心に多くの商業施設や公共施設が立地しています。



図 2.1 世田谷区および三軒茶屋駅周辺地区の位置

(2) 鉄道駅

鉄道駅の乗降客数

世田谷区三軒茶屋駅周辺地区内には東京急行電鉄株式会社の田園都市線三軒茶屋駅、世田谷線三軒茶屋駅の2駅があります。世田谷線三軒茶屋駅においては、始発駅（終着駅）の性格も有しており、また、両駅間の乗り換えも発生します。

1日平均乗降客数については、田園都市線三軒茶屋駅は11万人を超えます。世田谷線は駅毎の乗降客数に関する統計データが無いため不明ですが、全線利用者数（10駅）が10万人を超えることと、世田谷線の始発（終着）駅であるため、特定旅客施設の対象である5,000人以上の乗降客数に該当するものと考えられます。

表 2.1 駅および乗降客数

鉄道事業者	路線名	駅名	1日平均乗降客数 (2004年度)
東京急行電鉄 株式会社	田園都市線	三軒茶屋駅	112,870
	世田谷線	三軒茶屋駅	不明 (世田谷線全体の利用者数は104,980)

(出典：東京急行電鉄株式会社ホームページ)



田園都市線 三軒茶屋駅



世田谷線 三軒茶屋駅

鉄道駅の構造及びバリアフリー状況

駅構造及びバリアフリー状況の概略を以下にまとめます。

世田谷線三軒茶屋駅は、1階レベルの地平駅(頭端駅)のため、車いす使用者の自力移動が可能となっています。田園都市線三軒茶屋駅については、各ホームから改札口階への車いす使用者の自力移動は不可能ですが、車いす対応エスカレーターが設置されており、駅員の介助による移動は可能となっています。

また、世田谷線三軒茶屋駅にはトイレが設置されていません。田園都市線三軒茶屋駅では、トイレが設置されていますが、車いす対応、オストメイト対応にはなっておらず、オムツ交換用のベビーシート等は設置されていません。

表 2.2 駅の設備・バリアフリー状況

駅名	駅タイプ		設備・バリアフリー状況					
	改札	ホーム	設備の状況	車いす移動	トイレのバリアフリー対応状況			
					車いす	ベビーシート	オストメイト	
田園都市線 三軒茶屋駅	地下駅	地下1階	地上出入口 改札口	エレベーター				
			改札口 各ホーム	車いす対応 エスカレーター	要介助	×	×	×
		ホーム間	車いす対応 エスカレーター	要介助				
世田谷線 三軒茶屋駅	地平駅	1階	地上出入口 改札口	段差なし				
			改札口 各ホーム	段差なし		-	-	-
	頭端駅	1階	ホーム間	段差なし				

田園都市線三軒茶屋駅は、三茶パティオ口側に B1 階から地上階を結ぶエレベーターが設置されている。

田園都市線三軒茶屋駅の、ホーム階から改札階については、東京急行電鉄株式会社において、エレベーター設置の計画が進められている。

車いす移動

自力移動可能(段差無し、または段差がある場合のエレベーター設置)

係員の介助を必要とする設備利用により移動可能(車いす対応エスカレーター)

× 段差解消の設備が無いため移動不可能

トイレのバリアフリー対応状況

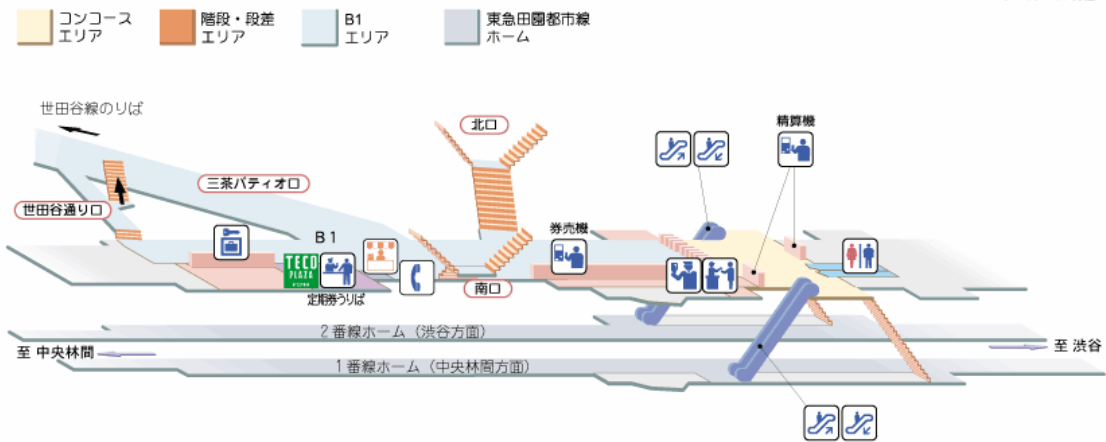
・車いす：車いす対応トイレ

・ベビーシート：ベビーベッドまたはベビーチェア設置

・オストメイト：オストメイト(人工肛門等を造設した人)対応水洗装置設置

田園都市線三軒茶屋駅立体図

2003年10月15日現在



田園都市線三軒茶屋駅平面図

2003年10月15日現在



図 2.2 田園都市線三軒茶屋駅構内図 (出典：東京急行電鉄株式会社ホームページ)

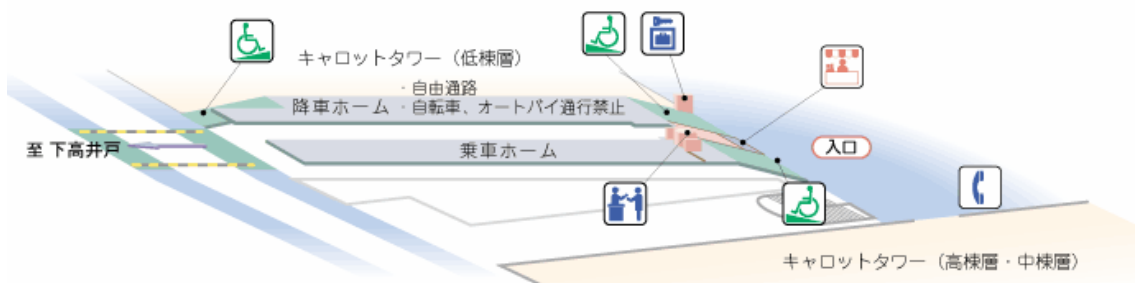


図 2.3 世田谷線三軒茶屋駅構内図 (出典：東京急行電鉄株式会社ホームページ)

(3)バス・バス停

三軒茶屋駅周辺地区においては、バス停が18箇所あります。うち、12箇所はバス停の待合スペースがある程度設けられていますが、残りの6箇所についてはスペースが十分ではない状況がみられます。

また、低床・ノンステップバスの導入の状況は、系統により異なりますが、1系統を除き導入されています。



図 2.4 バス停留所位置図（系統別に色分け）

表 2.3 低床・ノンステップバスの導入状況

系 統	東急バス							小田急バス		
	渋05	渋11	渋12	渋21・23	渋24	渋82	黒06	渋24	渋26	下61
低床・ノンステップバス		ほとんど				×			ほとんど	ほとんど

：導入済 ：一部導入 ×：未導入

(4)道路

広域幹線道路として、三軒茶屋駅周辺地区内を東西に国道 246 号が通過しています。また、駅を中心とした半径 500m 圏域外ではありますが、南北に環状 7 号線が走っています。

国道 246 号の三軒茶屋駅交差点から分岐して西に世田谷通り（都道第 3 号）が、北には茶沢通り（区道）が伸びています。

主にこの 3 路線が、三軒茶屋交差点を中心として本地区内の道路骨格を形成しており、都市計画道路としての整備は完了しています。

なお、東急田園都市線三軒茶屋駅は国道 246 号の地下に位置しており、地上出入口の多くが国道 246 号の歩道に立地しています。



国道 246 号



世田谷通り



茶沢通り



都市計画道路		主要生活道路		都市計画施設			
	計画線		計画線		都市高速鉄道		一団地の住宅施設(完成)
	完成		完成		都市計画河川		一団地の住宅施設(未完成)
	概成道路		概成道路		都市計画公園・緑地(開設)		ごみ焼却場
	事業中		事業中		都市計画公園・緑地(未開設)		市場
	優先整備路線 (平成12~21年度)		優先整備路線 (平成12~21年度)		土地区画整理事業を施行すべき区域 (事業済区域を除く)		駐車場
	東京都第三次事業化計画 優先整備路線(平成16~27年度)		促進路線		地域冷暖房施設		地域境界
	促進路線		今後検討を要する路線 (平成17~21年度)				
	今後検討を要する路線 (平成16~27年度)						
	交差点改良箇所 (平成17~21年度)						

図 2.5 三軒茶屋駅周辺地区の道路整備状況(出典:世田谷区都市整備方針)

(5) 周辺施設

三軒茶屋駅周辺地区の主な公共公益施設、病院・福祉施設、文化施設、商業施設等は以下に示す通りです。

表 2.4 各駅周辺の主な施設

分類	施設名
公共公益施設	世田谷区役所三軒茶屋分庁舎
	世田谷郵便局
	世田谷警察署
	太子堂区民センター
	三軒茶屋区民集会所
	世田谷区パブリックシアター（キャロットタワー内）
	人見記念講堂（昭和女子大学内）
下馬図書館	
福祉施設	ホスピア三軒茶屋
	世田谷区福祉作業所
	世田谷ボランティアセンター
医療施設	青葉病院
	三軒茶屋病院
商業施設	西友
	東急ストア（キャロットタワー内）



(凡例)

- | | | | |
|-------|--|-------------|--|
| 鉄道駅 | | 左記以外の公共公益施設 | |
| 区役所関連 | | 福祉施設 | |
| 郵便局 | | 医療施設(総合病院) | |
| 警察署 | | 商業施設 | |
| 大学 | | 主要な商店街 | |



図 2.6 三軒茶屋駅周辺地区の施設立地図

2.2 基本的な方針

(1) 主な課題

三軒茶屋駅周辺地区は、交通の結節点であると同時に、近年、商業業務機能の集積が急速に充実しつつあり、世田谷区都市整備方針では広域生活拠点として位置づけられています。

【三軒茶屋駅】

地区の中心となる東急 田園都市線 三軒茶屋駅は、地下構造であり、地下ホームから地上までに駅施設としてのエレベーターは設置されていません。100m 程度離れた箇所にある、パティオのエレベーターで地上への上下移動円滑化が図られていますが、そこまでの案内誘導や、さらに世田谷線への移動円滑化された経路での乗り換え案内が不十分となっています。

国道 246 号の南側、北側、三角地へのエレベーター等の設置が望まれます。



パティオのエレベーター

【バス及びバス停留所】

車いす使用者等が利用できるように、全てのバス車両がノンステップ化されることが望まれます。また、高齢者等の利用も考慮しバス停留所の案内表示の文字の大きさ等への配慮が必要です。安全かつ円滑な乗降ができるように、バスの正着性を高める必要があります。

【三軒茶屋交差点】

三軒茶屋交差点は、大幹線である国道 246 号と世田谷通りが交差するため、地上の道路には歩行者や自転車、自動車等が集中し、

慢性的な混雑状況が続いています。信号の待ち時間が長く、青時間が短いため、歩行者等の滞留空間が不足するなど多くの課題を有しています。沿道利用、道路構造、信号処理、地下構造等、複合的な課題が重なりあっています。



三軒茶屋交差点

【南北分断】

国道 246 号南北の地域を結ぶ横断手段は、三軒茶屋交差点以東では、三宿交差点までの間（約 800m）に、昭和女子大学前にあるバリアフリー化されていない横断歩道橋 1 箇所のみであり、地域の南北分断の解消が課題となっています。



昭和女子大学前歩道橋

さらに、昭和女子大前の横断歩道橋部では、歩道が狭くなり、学生の交通量が多い歩道で、ボトルネックとなっています。

【道路】

区民がよく利用する施設は駅を中心に、国道 246 号や世田谷通り、茶沢通りなど、主に歩道が設置されている道路沿いに立地していますが、一部の施設は歩道のない道路でアクセスをしなければならない状況です。

世田谷通り、茶沢通りは歩道が整備されているものの、舗装が滑りやすいなどが指摘されています。特に茶沢通りは、歩道の有効幅員が狭く車道側への傾斜が急であるなど、構造的な問題を抱えています。

また、誰もがわかりやすいま



茶沢通り

ちの誘導案内の充実なども、今後の課題となります。

【信号機等】

信号機については、音響式信号機が整備されている箇所もありますが、押しボタンから音が鳴っていないため位置がわかりにくい等の問題があります。



押しボタン

【放置自転車等】

幹線道路沿道には商店街が形成されており、放置自転車や看板等の歩道への張り出し等、歩道上の放置物件の存在が全体的な課題となっています。



放置自転車

(2) 基本的な方針

協働による段階的な交通バリアフリーの実現を目指します。

交通バリアフリー法では、交通バリアフリー基本構想に基づく特定事業の実施目標を平成 22 年までとしています。

しかし、本地区では、早期に効果発現が期待される事業と、調整・話し合いを継続し長期的に実現化を目指す課題があり、交通バリアフリー法の枠組みだけでは、本質的な解決は望めません。

そのため、この基本構想は、平成 22 年までを目標に実施する特定事業の内容と、関係者が協働して継続的に取り組む行動指針（世田谷区が独自に定めるもの）を示し、段階的な交通バリアフリー環境の実現を目指していきます。

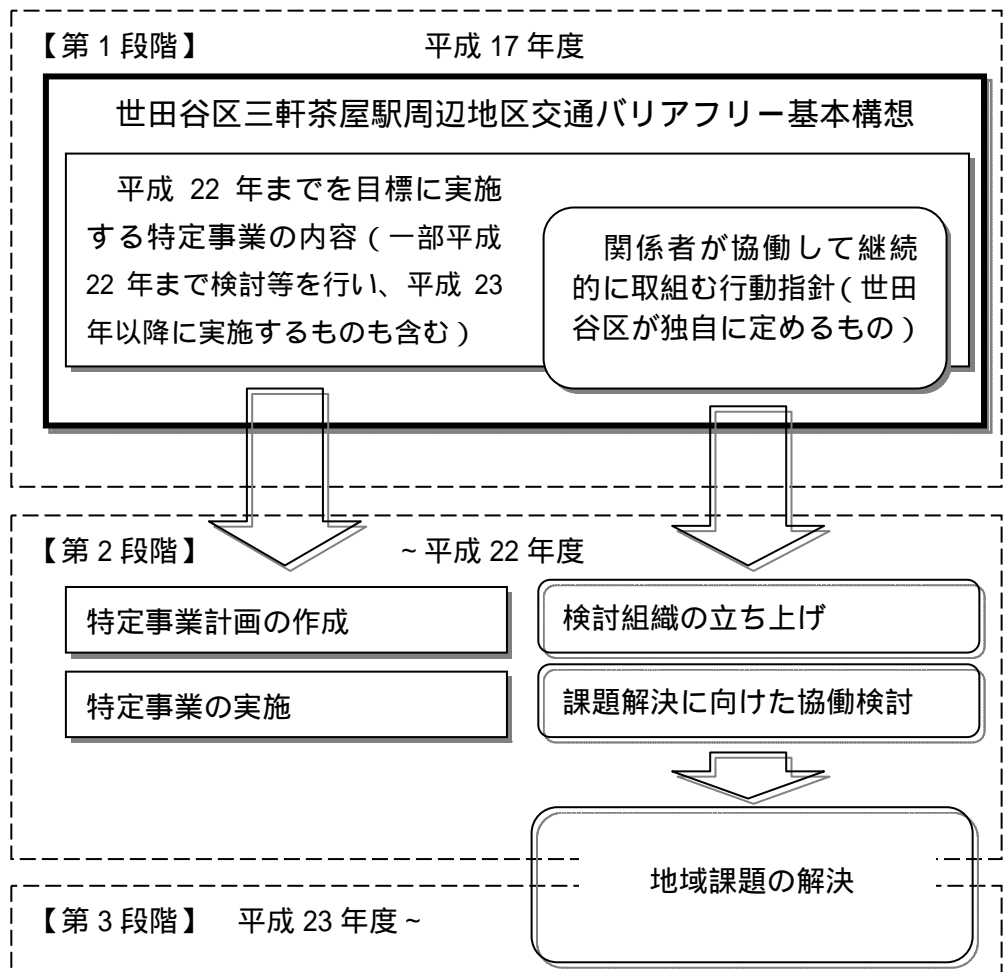


図 2.7 基本方針

(3) 整備方針

三軒茶屋駅周辺地区は、世田谷区都市整備方針の広域生活拠点に位置づけられていることから、区内のバリアフリー化を推進するモデルとして、すべての人にやさしいユニバーサルデザインの理念に基づく整備を推進します。

【三軒茶屋駅のバリアフリー】

駅施設については、車いすでの自力移動を確保するため、現在車いす対応エスカレーターとなっているホーム階から改札階までのエレベーター等の整備を進めるとともに、トイレや券売機、乗り換え案内を含む案内サイン等のバリアフリー化を進めます。

また、駅施設としての改札階から地上までのエレベーター設置に向けて、まちづくりや周辺開発等の機会も視野に入れ、継続して検討を進めていきます。

【バス及びバス停留所等のバリアフリー】

バスについては、今後も継続してノンステップバスの導入率を高めていき、停留所ではわかりやすい案内表示等への改善、正着性の向上を推進します。

【三軒茶屋交差点問題及び南北分断の総合的解決】

三軒茶屋交差点及び昭和女子大前の横断歩道橋を含む地域の南北分断については、多くの問題が複合的に関わっています。まちづくりや周辺開発等の機会を捉え、地域住民、道路管理者、交通管理者、公共交通事業者、世田谷区等が協調して進めていく必要があり、継続して課題解決に向けた取り組みを進めていきます。

【道路のバリアフリー】

特定旅客施設と官公庁施設、福祉施設等の対象目的施設を結ぶ経路については、特定経路に指定し、滑りにくい舗装の採用や段差解消、勾配改善等、道路の移動円滑化基準に基づく整備推進を図ります。

ただし、歩道が未設置である単断面道路については、可能な限りの移動円滑化を推進する準特定経路として世田谷区独自に位置づけ、公開空地の確保・活用等、まちづくりのルールづくりも含め、地域と一体的・継続的に有効幅員の確保に努めていきます。

また、来街者が安心して目的の施設まで行けるように、誰もが

わかりやすい案内誘導サイン環境の充実を図ります。

【信号機等のバリアフリー】

信号機等については音響式信号機の設置を進めるとともに、既存の音響式信号機についても、押しボタンや音の大きさ等について改善を進めます。

【心のバリアフリー】

歩道の幅を狭める歩道上の放置物件については、区民等への意識啓発と併せ、関係機関による指導等を強化します。

また、ハード整備を生かすためにはソフトとして、心のバリアフリーも必要となります。このため、ハードと心のバリアフリーの両輪により、誰もが快適で移動しやすい環境整備の実現を目指します。

2.3 特定経路

(1) 特定旅客施設

本地区における特定旅客施設は、以下の2駅になります。

表 2.5 特定旅客施設

鉄道事業者	路線名	駅名
東京急行電鉄 株式会社	田園都市線	三軒茶屋駅
	世田谷線	三軒茶屋駅

(2) 対象目的施設

次に、三軒茶屋駅周辺地区における、「特定旅客施設との間の移動が通常徒歩で行われ、かつ、高齢者、身体障害者等が日常生活又は社会生活において利用すると認められる官公庁施設、福祉施設その他の施設」(以下、「対象目的施設」と呼ぶ)を示します。

主にアンケート結果や、障害者団体へのヒアリング、施設配置の状況等から抽出しました。

表 2.6 対象目的施設

分類		対象目的施設	備考
よく利用される施設	よく利用、時々利用の回答が特に多い傾向の施設	西友	
		東急ストア	キャロットタワー内
		世田谷郵便局	
		世田谷区三軒茶屋分庁舎	
	よく利用、時々利用の回答が比較的多い施設	世田谷警察署	
		太子堂区民センター	
		三軒茶屋区民集会所	
		世田谷パブリックシアター	キャロットタワー内
		人見記念講堂	
身体障害者等の利用が多い施設	世田谷ボランティアセンター		
上記と同一経路内にある施設	青葉病院		
	三軒茶屋病院		
	世田谷福祉作業所		
	下馬図書館		
	駅周辺商店街	茶沢通り商店街等	

よく利用される施設

三軒茶屋駅周辺の施設の利用状況等を把握するため、区民へのアンケート調査を行いました。

【アンケート調査の概要】

実施方法：団体配布（障害者団体、高齢者クラブ、ミニキャブ区民の会、各町会等）

施設窓口配布（太子堂出張所、若林まちづくり出張所、子育て情報ひろば）

実施期間：平成17年7月22日～9月6日

配布部数：906部（施設窓口配布も含む）

回答部数：488部

設問内容： 個人属性

移動・外出について

障害などについて

三軒茶屋周辺の外出・施設利用について

東急田園都市線三軒茶屋駅の利用について

東急世田谷線三軒茶屋駅の利用について

三軒茶屋駅周辺の道路について

バリアフリーの取り組みに関する意見

その結果、よく利用、時々利用の回答が特に多い施設は、「西友」（87.9%）、「東急ストア（とうきゅう）」（79.8%）、「世田谷郵便局」（69.5%）、「世田谷区三軒茶屋分庁舎」（61.5%）となっています。

また、よく利用、時々利用の回答が比較的多い施設は、「世田谷警察署」、「太子堂区民センター」、「三軒茶屋区民集会所」、「世田谷パブリックシアター」、「人見記念講堂」となっています。

これらの施設はよく利用される施設と位置づけ、対象目的施設として設定します。

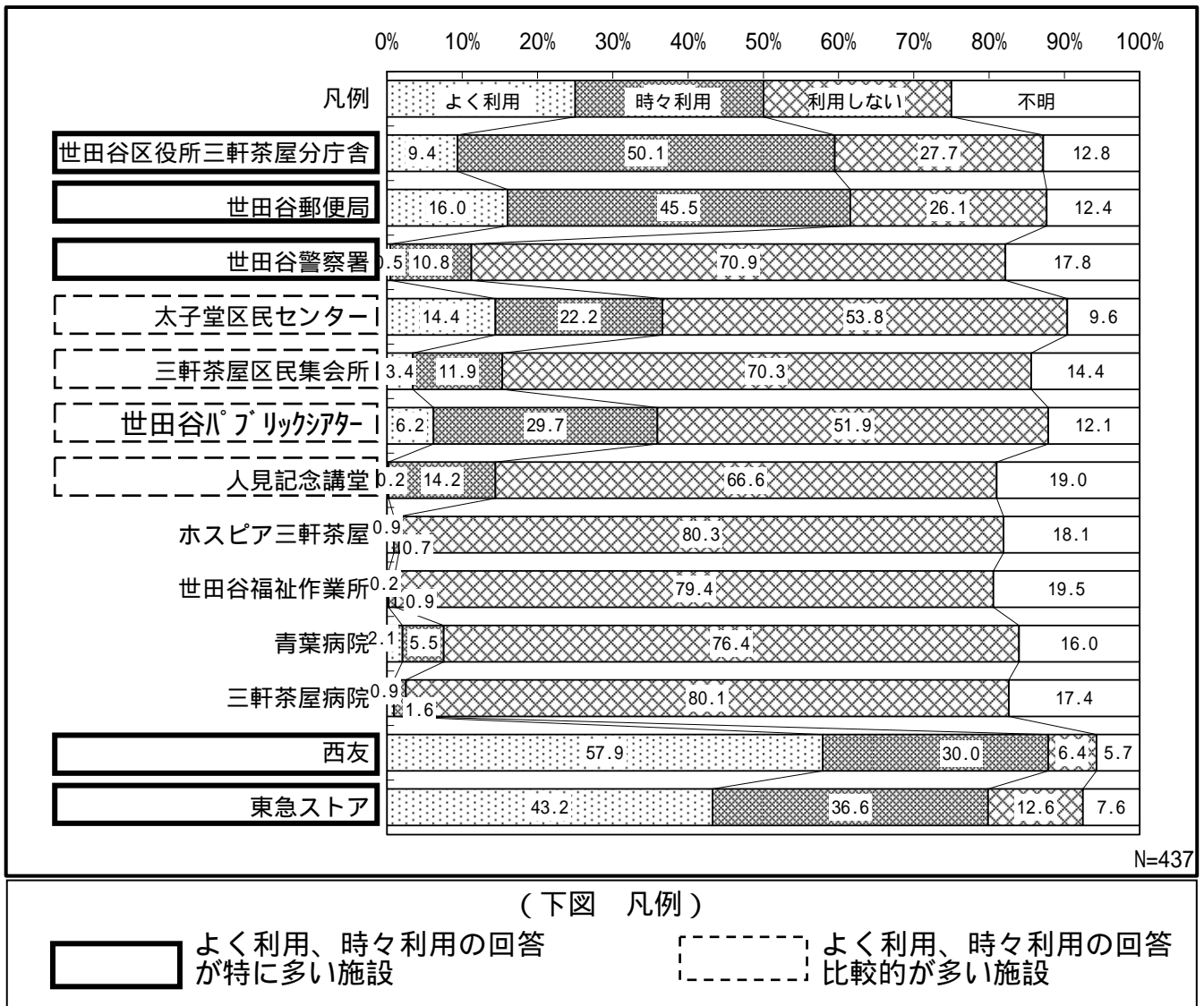


図 2.8 三軒茶屋駅周辺の施設の利用頻度 (交通バリアフリーアンケート調査結果)

身体障害者等の利用が多い施設

特に身体障害者等の利用が多い施設として、「世田谷ボランティアセンター」があります。世田谷区内はもとより、都内・全国・海外のボランティアセンターとネットワークを形成し、各種ボランティア情報の提供や、多様な活動を開発し提案する、総合推進センターです。講習会や勉強会等が開催され、多くの身体障害者が利用しています。



世田谷ボランティアセンター

身体障害者利用という観点から特別な施設であるため、「対象目的施設」として設定します。

上記と同一経路内にある施設

「青葉病院」、「三軒茶屋病院」は、国道 246 号沿道に立地しており、三軒茶屋駅と世田谷郵便局や人見記念講堂を結ぶ経路上に位置しています。

「世田谷福祉作業所」、「下馬図書館」は、世田谷ボランティアセンターと同じ道路に立地しています。

また、駅周辺の商店街は、国道 246 号、世田谷通り、茶沢通りに位置しています。特に「茶沢通り商店街」は、西友や世田谷区三軒茶屋分庁舎、三軒茶屋区民集会所よりもさらに北側まで広がっています。

同一経路内に位置し、今後の経路整備において一体的な整備が期待されることから、これらの施設も対象目的施設として設定します。